



明新館通信

日日新 又日新 (日日新大に又日に新大なれ)

平成27年度
第8号(通巻101号)
山形県立上山明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
TEL 023(672)1700
平成27年11月27日(金)発行

<行事予定>

<11月>

30日(月) 職員会議

<12月>

- 1日(火) 県農業クラブプロジェクト発表会
安全の日
- 2日(水)
- 3日(木)
- 4日(金) 期末テスト第1日
- 5日(土)
- 6日(日)
- 7日(月) 期末テスト第2日
- 8日(火) 期末テスト第3日
- 9日(水) 期末テスト第4日
AED講習会
- 10日(木) 自動車運転免許取得説明会
衛生委員会
- 11日(金) 3年全統マーク模試
- 12日(土) 3年全統マーク模試
- 13日(日)
- 14日(月) 分掌課会
- 15日(火) 2年進路ガイダンス②
適応指導委員会⑦
- 16日(水) 課長主任会
- 17日(木) PST 座談会
生徒会リーダー研修会
- 18日(金) 生徒会リーダー研修会
- 19日(土)
- 20日(日) 全商英語検定
アンサンブルコンテスト
地区大会(やまぎんホール)
- 21日(月) 成績会議・職員会議
- 22日(火) 大掃除・終業式 冬期講習
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木)
- 25日(金)
- 26日(土)
- 27日(日)
- 28日(月)
- 29日(火) 年末年始休業 (~1/3)
- 30日(水)
- 31日(木)

食料生産科 農業クラブ

2015 やまがた公益大賞 **グランプリ受賞!!**

「桑から広がる農地復興プロジェクト」の活動が評価される

やまがた公益大賞は山形県が主催し、地域課題の解決に取り組むさまざまな公益活動を顕彰し、県民に広く紹介する目的で設けられた賞です。今年度は、グランプリ1団体、大賞4団体が選ばれましたが、本校農業クラブが、見事、最高賞であるグランプリを受賞しました。上市市と姉妹都市である名取市において、東日本大震災の津波による塩分を含んだ農地を、桑とモミガラを使って化学的に改善してきた「農地復興プロジェクト」の取り組み、すなわち、再び生産活動ができる環境にすることを目的とした取り組みについて高い評価をいただき、本校農業クラブがグランプリの栄誉に輝きました。

11月13日(金)にホテルメトロポリタン山形で開催された「平成27年度やまがたNPO活動促進大会」において授賞式が行われ、続いて、「農地復興プロジェクト」に取り組んだ渡邊真奈、村上裕哉、伊藤寛人、菊地名菜、鈴木愛捺(以上3年)が活動報告を行いました。活動報告についても好評を得て、生徒にとっては大きな自信となるとともに、後輩たちに研究を引き継いでいかなくてはという自覚を持つ機会となりました。



「第6回農業・食料・環境を考える山形県民シンポジウム」で成果発表

11月17日、山形県高度技術研究センターで行われた「第6回農業・食料・環境を考える県民シンポジウム」において、山形大学農学部、県立農業大学校、本校の3グループがそれぞれ発表を行いました。本校は、渡邊真奈、村上裕哉、菊地名菜、鈴木愛捺の4人が「桑から広がる農地復興プロジェクト」について、研究と実践の成果を発表しました。このシンポジウムは、最新の農業研究や農業学習の成果を紹介し、県内農業の発展に資することを目的に毎年行われています。

情報経営科

「金融教育公開授業 in 山形」本校で実施される

10月30日、金融広報中央委員会・山形県金融広報委員会主催による「金融教育公開授業 in 山形」が、本校において実施されました。公開授業では、本校の丸山奈佳先生が「ビジネス基礎」の科目で、経済の仕組みについて、1年生の学習を公開しました。午後の講演会では、『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』の著者・山田真哉氏(公認会計士・税理士)による講演が行われ、「数字センス」「会計センス」についてお話しがあり、「会計とは技術ではなく哲学である。」とまとめられました。主催者である日銀山形支店長をはじめ金融機関の方々、県内の商業を専門とする先生方が出席され、本校情報経営科1年生~3年生までが講演を聴講しました。



国際ソロプチミストかみのやま主催

「夢を拓くキャリア・サポート茶話会」

11月4日、国際ソロプチミストかみのやま主催「夢を拓くキャリア・サポート茶話会」が、本校において実施されました。「夢に向かって」というテーマで、日本の宿「古窯」の女将 佐藤洋詩恵氏による講演が行われました。「笑顔、明るさ、素直さを大切にすること」（祖母の教え）、「夢は口にする」（叶わなくとも何かにつながる）、「自分を大切にしなければ、おもてなしできない」「顔と顔を見て、目と目を見てコミュニケーションを」等々、実体験を交えてお話になり、最後に、夢に向かって “Never give up!” とまとめられました。JRCのメンバーや生徒会代表の生徒達が聴講し、将来についてヒントと勇気を与えていただきました。



ふれあいトークかみのやま2015

「少年事件から考えよう ～私たちにできること～」



11月11日に、本校を会場にして「ふれあいトークかみのやま2015」が開催されました。上山地区少年補導連絡会と上山警察署主催で、上市市内の中高校生代表と青少年健全育成関係団体の代表者が集まり、少年の規範意識向上と子どもと大人の相互理解を図ることを目的として実施されました。上市市内の3つの中学校から生徒、教員、PTA関係者が集い、本校からは生徒26名、教員2名、PTA会長が参加し、関係各団体の代表者も加わり実施されました。今回は、「少年事件から考えよう ～私たちにできること～」というテーマで、6班に分かれグループ討議が行われました。各班で、川崎市の男子中学生殺害事件について「気づけなかったSOS」を取り上げ、大

人に伝わらなかった背景について意見を交換し、各班の代表者が話し合いの内容を報告しました。参加した各校の生徒一人ひとりが、加害者や被害者にならないためにできることを真剣に考える機会となりました。

活力あふれる高校づくり

「地域貢献まちづくり事業」

11月21日、「地域貢献まちづくり事業」として、生徒会執行部、吹奏楽部、合唱部、演劇部の生徒たちが介護施設「みゆきの丘」を訪問し、交流会を行いました。合唱部による「水戸黄門のオープニング曲」「涙そうそう」等の合唱ではじまり、演劇部による「桃太郎」「笑点大喜利」で笑いを誘い、吹奏楽部による「日本の情景・秋」「ど演歌えきすびれず」等の演奏で盛り上がり、交流を深めました。最後に、会場にいる全員で「ふるさと」を斉唱し、交流会の幕を閉じました。交流会の前に、情報経営科の生徒がデザインし、普通科の生徒が激励のことばを記したスマイルグリーティングカードと食料生産科の生徒が作ったクッキーを、集まっていた利用者の一人ひとりに手渡しいたしました。



山形県選挙管理委員会事務局主催

「選挙啓発高校生出前講座」

11月20日、本校体育館において3年生全員を対象に県選挙管理委員会事務局主催の「選挙啓発高校生出前講座」が実施されました。投票年齢を18歳以上に引き下げることが法律で決まり、一票の重さについての認識を高め、選挙意識を醸成する目的で実施されました。事務局職員による投票の大切さの説明の後、模擬投票が行われました。



主な大会の記録

- ・県新人大会女子ハンドボール部 第3位
- ・県新人大会男子ハンドボール部 ベスト8
- ・県新人大会新体操部 女子団体 第4位
- ・県新人大会レスリング部 60kg級 第2位 熊澤圭虎(2年)
(東北選抜大会出場決定)
96kg級 第3位 武田淳也(2年)
- ・村山地区新人大会 女子バレーボール部 優勝
- ・第57回山新杯ペーダ―駅伝 女子第2位
鹿場聖礼(3年)、中井瑞稀(2年)、小笠原桃歌(1年)
高内しおり(1年)、片桐優生(1年)、森 遥香(1年)
- ・第61回上市市総合体育大会 弓道部 優勝 西村 涼
第3位 菅原 怜
- ・県高校新人ワープロ競技大会情報処理部 団体4位